

第2回厚生文教常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和8年5月14日（木曜）		午前 9時30分 開会		
	休 憩 10:28-10:45 11:01-11:01				
			午前 11時6分 閉会		
	休憩時間：0時間17分		会議時間：1時間19分		
会議場所	3階委員会室				
出席委員 氏 名	委員長	立川 美穂	委員	渡辺洋一郎	
	副委員長	中村 和宏			
	委員	西尾 一則			
	委員	常通 直人	委員	小笠原 等	議長
説 明 員	公立芽室病院副院長	岡山有美子	医事係長	佐々木弥恵子	
	事務長	石田 哲	健康福祉課長	森 真由美	
	診療技術科長	多田 悦憲	課長補佐	吉川 泰子	
	事務長補佐	一色真由美	国保医療係長	塩原勢津子	
	事務長補佐	杉本 康次			
	診療技術科長補佐	吉田 誠			
参 考 人					
欠 席 委 員 氏 名	委員	橋本 和仁			
	委員	中田智恵子			
事務局職員	事務局長	安田 敦史	総務係長	竹川 恭史	
<p>『会議に付した事件と会議結果など』</p> <p>1 開 会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長が開会を告げ、橋本和仁委員及び中田智恵子委員の欠席を報告し、事務局から本日の委員会の日程を説明する。 <p>2 議 件</p> <p>(1) 調査事項</p> <p>ア 公立芽室病院経営強化プランに基づくR8アクションプランについて 資料1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務長：資料を事務長補佐から説明する旨を告げる。 ・事務長補佐：資料説明。 ・委員長：項目ごとに質疑を行う。「1 医療の質向上と経営強化」について、質疑はないか？ ・常通委員：アンダーラインの意味は？ ・事務長補佐：前年度から変更された重要部分を示すためのもの。 ・西尾委員：R8アクションプランが7項目になった理由は？ ・事務長：昨年度の感染症対策項目が削除されたため。 ・渡辺委員：R7アクションプランの評価があつて初めてR8アクションプランにつ 					

ながると思うが、前年度の評価はどのように進められているのか？

- ・事務長：以前は前年度の評価を先に行い、その後翌年度のアクションプランを策定していた。しかし、収支が確定しない段階で評価を行うのが難しいため、今年度から手法を変更。前年度の評価は6月頃までに行い、その前にR8アクションプランを作成している。
- ・渡辺委員：R7の評価とR8への継続性については？
- ・事務長：毎月評価を行い、次年度のアクションプランに反映している。
- ・渡辺委員：診療報酬改定を踏まえた医療提供体制の検討について、具体的にどのような内容を予定しているか？
- ・事務長補佐：現在、地域包括ケア病床の拡大を検討している。これは国が回復期リハビリテーションの充実および在宅への早期復帰を重視する方針を示していることを受け、当院としてもその方向性に沿った病床の変更を進めるためである。
- ・渡辺委員：診療報酬改定が病院経営にどのような影響を与えるのか？
- ・事務長補佐：診療報酬改定により、物価高騰や人件費高騰に対応する点数が新設され、収益的にはプラスが見込まれる。ただし、物価高騰が続いているため、診療報酬改定が完全に追いつくかは不透明。
- ・渡辺委員：物価高騰の影響を考慮すると、診療報酬改定が増収につながるのか？
- ・事務長：診療報酬改定は物価高騰を反映しているが、その後のさらなる物価高騰には対応していないため、経営への不安はある。
- ・渡辺委員：ナフサ問題などの世界情勢が公立芽室病院に与える影響は？
- ・事務長補佐：医療資材の納期遅延や価格高騰が発生している。特にシリコンチューブなどの医療資材が入手困難になっており、代替品の確保や節減に努めている。
- ・渡辺委員：患者への影響のあるものに対して今後の対策は？
- ・事務長：現状では診療に大きな影響はないが、今後の状況は不透明であり、最大限の節減努力を行っている。
- ・委員長：他にないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：以上で「1 医療の質向上と経営強化」について、質疑を終了する。

- ・委員長：次に「2 地域包括ケアシステムの推進と医療DXの強化」について、質疑はないか？
- ・渡辺委員：医療DXの具体化について、具体的なイメージや進捗状況は？
- ・事務長：医療DXの具体化には複数の選択肢があり、例えば医療機材を患者のもとに運ぶ車両の活用や、送迎車内で受付を行うなどの案を検討中。今年度下半期には稼働させたいと考えている。
- ・常通委員：導入する車両について、救急車のような専門車両を想定しているのか、それとも既存車両の活用を考えているのか、現時点でのイメージは？
- ・事務長：機動的な運用の観点からは専門車両の保有が望ましいと考えている。しかし、自院で車両を保有すべきか、他機関との連携を図るべきかといった点も含め、あらゆる選択肢を視野に入れて検討を進める。

- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で「2 地域包括ケアシステムの推進と医療DXの強化」について、質疑を終了する。

- ・委員長：次に「3 住民向け企画事業の推進」について、質疑はないか？
- ・常通委員：病院まつりの周知について、もう少し色々な方に来ていただくような工夫は？
- ・副委員長：福祉関係施設との連携を強化し、町全体で取り組む形に進化させたい。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で「3 住民向け企画事業の推進」について、質疑を終了する。

- ・委員長：「4 リハビリ機能強化」については調査事項イにおいて質疑を受けることとする。

- ・委員長：次に「5 働きやすさを実感できる労働環境の整備」について、質疑はないか？
- ・中村委員：現在の病院の超過勤務状況は？
- ・事務長：医師の労働時間は安定しているが、当直負担軽減に取り組んでいる。
- ・副院長：看護師の時間外勤務は削減され、退職者も減少している。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で「5 働きやすさを実感できる労働環境の整備」について、質疑を終了する。

- ・委員長：次に「6 施設・整備の最適化の検討」について、質疑はないか？
- ・渡辺委員：経営強化プランにおいて初期工事から30年以上経過していることが記載されている。建て替えの方針は院内で決定済みとのことだが、今後建て替えか長寿命化かを含め、今年度末までに方向性を整理するという認識でよいか。
- ・事務長：お見込みのとおりである。令和3年度に、大規模改修に30億円を要するとの試算から建て替えを意思決定した経緯がある。しかし、現在の資材高騰や、患者を受け入れながら改修を行うための仮設病棟の建築費などが当初の試算に含まれていない可能性がある。そのため、改めて大規模改修と建て替えそれぞれの概算費用を算出し、国の補助金を考慮した病院側の実質負担額を精査する。これらの材料を基に、改めて病院としての方針を固め、町が意思決定するための材料を整理したい。
- ・渡辺委員：今年度中に院内で方針を整理した後、町としての意思決定は具体的にいつ頃を想定しているか？
- ・事務長：築30年を超えている現状から、早期の意思決定が望ましいと考えている。ただし、判断に必要な材料を揃えるために今年度いっぱいを要するため、町による

意思決定は来年度以降になる見通しである。来

- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で「6 施設・整備の最適化の検討」について、質疑を終了する。

- ・委員長：次に「7 全部適用化の検討」について、質疑はないか？
- ・西尾委員：全部適用化の検討が後退した理由は？
- ・事務長：全部適用化の検討については、昨年度の厚生文教常任委員会の視察報告書の内容を踏まえ、前年度から大幅に修正した。国の原則的な方針である事業会計の全適化を念頭に置きつつも、当院としては町民が安心して医療・介護を受けられる体制の構築を最優先事項として検討を進める方針である。
- ・西尾委員：高島病院の事例では、全面的な指定管理者制度導入（全適）により収支が改善したが、成功の要因は優れた管理者の存在にあったと認識している。全適をただ検討するだけでなく、実行するという前提で、最適な人材を具体的に探しているのか。それとも検討を先送りしているのか。全適を目的化すべきではないかという意見も含め、見解を伺いたい。
- ・事務長：国の方針が全適を前提としている以上、その方向性を変えるつもりはない。しかし、全適の導入そのものを目的として進めるのではなく、町民にいかにして適切な医療を提供し続けるかという点を大前提として検討を進めていく方針である。
- ・常通委員：全適を進めない場合の国からの補助金への影響は？
- ・事務長：時限立法的なものではなく、国の動向に対応できるよう検討を続ける。
- ・渡辺委員：全部適用化の検討について、経営強化プランの改定も視野に入れているのか？
- ・事務長：経営強化プランの改定は、大規模な変更がある場合のみ行う方針。今年度の変更箇所は大規模ではないため、現時点では改定を予定していない。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で「7 全部適用化の検討」について、質疑を終了する。

- ・委員長：最後に全体を通して、質疑はないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で調査事項「ア」の調査を終了する。

イ 公立芽室病院におけるリハビリテーションの今後の方針について

資料2

- ・事務長：資料を診療技術科長補佐から説明する旨を告げる。
- ・診療技術科長補佐：資料説明。
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・渡辺委員：リハビリ機能の強化に向けた人員増員計画は？
- ・診療技術科長補佐：現在18名のスタッフがいるが、さらに3名（理学療法士1名、作業療法士1名、言語聴覚士1名）を増員し、最終的に21名体制を目指している。

- ・常通委員：今年度既に3名を採用していて、さらに3名追加で採用し最終的に21名ということか？
- ・診療技術科長補佐：お見込みのとおり。ただし、若いスタッフが多いため、育児休暇や年休のフォローを考慮すると、さらに増員が必要になる可能性がある。
- ・中村委員：365日リハビリ体制の実現には職員の増員が必要ではないか。また、病院としての今後の見通しはどうか？
- ・副院長：リハビリ職員の増員については、コンサルタントの助言および患者ニーズを考慮して計画的に進めている。看護師も日常生活動作におけるリハビリを支援し、早期の在宅復帰を目指す。また、診療報酬改定に伴い、本体制の導入による加算を見込んでいる。
- ・渡辺委員：365日リハビリはいつから実施するのか？
- ・診療技術科長補佐：6月から土曜日・祝日、10月から土日祝日すべてでリハビリを開始。
- ・渡辺委員：365日リハビリを実施することで、病院の収益にどの程度影響があると試算しているのか？
- ・事務長：試算は行っているが、具体的な数字は公表しづらい。ただし、人件費以上の収益が見込まれるため、採用を進めている。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で、調査事項「イ」の調査を終了する。

ウ 令和8年度芽室町国民健康保険税率等の考え方について 資料3-1、3-2

- ・健康福祉課長：事業概要説明。担当係長から資料説明する旨を告げる。
- ・国保医療係長：資料説明（「現行税率と改正後税率の比較」「軽減判定所得に乗じる額における改正内容」「令和7／8年度年税額の比較」「低所得者に係る保険税額軽減措置世帯の割合」「賦課限度額超過世帯の割合」）
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・渡辺委員：全体的に前年度と比較し引き下げという捉えで良いか？
- ・健康福祉課長：現段階の試算では概ね引き下げになると見込んでいる。
- ・渡辺委員：課税限度額の変更により、限度額超過世帯への影響はどうなるのか？
- ・保健福祉課長：基礎賦課分で1万円、子供子育て支援納付金分で3万円の引き上げがあり、限度額超過世帯の負担は増加する。
- ・渡辺委員：国保運営協議会ではどのような議論が行われたか？
- ・保健福祉課長：昨日、国保運営協議会で税率の考え方について諮問を行い、現行案で進めることが適切であるとの答申を受けた。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で、調査事項「ウ」の調査を終了する。

エ 高齢者予防接種事業について 資料4

- ・健康福祉課長：事業概要説明。課長補佐から資料説明する旨を告げる。
- ・課長補佐：資料説明。
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・渡辺委員：価格の設定は医療機関によって異なるのか？
- ・課長補佐：接種費用は各医療機関での設定になる
- ・渡辺委員：標準量と高用量の価格は違うのか？
- ・課長補佐：金額は異なる。
- ・渡辺委員：町民への周知時期は？
- ・課長補佐：接種開始時期（10月1日）より前に、広報やチラシを通じて早期に周知を進める。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で、調査事項「エ」の調査を終了する。

- ・委員長：本日の調査事項について、自由討議を行う。最初に調査事項「ア」について、意見はないか？
- ・渡辺委員：R8アクションプランやリハビリ機能の強化は町民に好影響を与えるが、病院経営の収益性や投資の妥当性を注視する必要がある。委員会としては、四半期ごとの経営状況や途中経過を調査し、社会情勢の変化も踏まえながら対応していくべき。
- ・委員長：他にないか？
- ・（なし）
- ・委員長：終了する。
- ・委員長：次に調査事項「イ」について、意見はないか？
- ・（なし）
- ・委員長：終了する。
- ・委員長：次に調査事項「ウ」について、意見はないか？
- ・（なし）
- ・委員長：終了する。
- ・委員長：最後に調査事項「エ」について、意見はないか？
- ・（なし）
- ・委員長：終了する。

3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について

- ・令和8年6月1日（月）本会議終了後

(2) その他

- ・委員長：各委員からないか？
- ・（なし）

- ・委員長：議長からないか？
- ・(なし)
- ・委員長：事務局からないか？
- ・(なし)

以上をもって、厚生文教常任委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	1名	議員	0名	合計	1名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和8年5月14日

厚生文教常任委員会委員長 立川 美穂